

平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年9月30日

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所 東
 コード番号 2300 URL http://www.ci-kyokuto.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 牧平 年廣
 問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 三好 清一郎 (TEL) 092-503-0050
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日 配当支払開始予定日 平成27年11月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	4,011	△3.0	354	△15.5	397	△13.8	239	△29.0
27年2月期第2四半期	4,136	0.2	420	10.1	461	10.9	337	45.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年2月期第2四半期	43.27		—					
27年2月期第2四半期	60.93		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	5,416	3,868	71.4
27年2月期	5,234	3,683	70.4

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 3,868百万円 27年2月期 3,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	5.50	—	7.50	13.00
28年2月期	—	5.50			
28年2月期(予想)			—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,315	5.0	345	182.7	410	93.6	239	35.9	43.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	5,551,230株	27年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	9,591株	27年2月期	9,561株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	5,541,644株	27年2月期2Q	5,541,719株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速の影響が見られるものの、先進国を中心とした海外経済や企業収益が改善するもとの緩やかな回復傾向にあります。

個人消費におきましても、雇用・所得環境の改善が続くもとの消費者マインドが改善するなど、堅調に推移しております。

しかしながら、クリーニング業界におきましては、消費者の節約志向が依然として根強いことから、本格的な需要の回復には至っておりません。

このような状況の中で当社は、新しいマーケットの開拓とお客様の利便性と満足度の向上及び品質と生産性の向上に取り組みました。

営業面においては、新規出店と店舗リニューアルを積極的に実施しました。新規出店は、新たに15店舗(うち1店舗は平成26年12月1日付事業の一部譲受けで取得した店舗)を出店しました。店舗リニューアルは、お客様の利便性の向上を図るために駐車スペースを増設するなどの店舗リニューアルを実施しました。また、直営店の全スタッフが参加する「営業ミーティング」を継続して実施し、サービス改善とお客様満足度の向上及び店舗の活性化を図りました。

加えて、ナイターセールや夏祭りセールなど地域に密着したサービスとお客様に楽しんで頂くためのイベントを実施し需要の拡大に努めました。

生産面においては、新しいクリーニング機械設備の導入と女性を中心とした職場活性化の継続した取り組みにより、品質と生産性の向上を図りました。

店舗政策は、不採算店の閉鎖や取次店オーナーの高齢化に伴う閉鎖により36店舗を閉鎖し、当第2四半期累計期間末の店舗数は720店舗(前事業年度末に比べて21店舗の減少)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、3月が昨年消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の影響で大きく需要が落ち込み、加えて梅雨が長引いたことや台風など天候不順の影響を受け需要が低迷したことにより、売上高は4,011,943千円と前年同四半期と比べ124,168千円(3.0%)の減収となりました。

利益につきましては、特別会員制度の改定に伴い平成26年11月30日でポイント制度を廃止したことにより、販売費及び一般管理費が縮小されましたが、営業利益は354,920千円と前年同四半期と比べ65,147千円(15.5%)の減益、経常利益は397,829千円と前年同四半期と比べ63,796千円(13.8%)の減益となりました。

四半期純利益は、前年同四半期で固定資産売却益127,602千円を特別利益に計上したことなどにより、239,796千円と前年同四半期と比べ97,882千円(29.0%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて214,711千円増加し、1,820,406千円となりました。これは、現金及び預金が245,243円増加したことなどによりです。

固定資産は、前事業年度末に比べて32,489千円減少し、3,596,350千円となりました。これは、無形固定資産が14,851千円、投資その他の資産が9,555千円、有形固定資産が8,082千円減少したことなどによりです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて182,222千円増加し、5,416,757千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて65,240千円増加し、920,349千円となりました。これは、未払法人税等が110,812千円増加したことなどによりです。

固定負債は、前事業年度末に比べて68,193千円減少し、627,909千円となりました。これは、長期借入金が54,972千円減少したことなどによりです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて2,952千円減少し、1,548,258千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて185,174千円増加し、3,868,498千円となりました。これは、利益剰余金が198,234千円増加したことなどによりです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度に比べ275,014千円(32.3%)増加し、当第2四半期累計期間末には1,126,979千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、403,154千円(前年同四半期累計期間比25.0%減)となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益405,688千円、減価償却費66,158千円などであり、支出の主な内訳は、未払消費税等の減少33,611千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は、7,156千円(前年同四半期累計期間は221,478千円の収入)となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入355,093千円などであり、支出の主な内訳は、定期性預金の預入による支出325,323千円、有形固定資産の取得による支出44,089千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は、120,984千円(前年同四半期累計期間比13.7%減)となりました。

支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出64,988千円、配当金の支払額41,519千円などであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月14日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,356,645	1,601,889
売掛金	62,850	71,186
商品	28,715	26,858
原材料及び貯蔵品	22,695	21,803
前払費用	83,668	73,495
その他	51,119	25,172
流動資産合計	1,605,694	1,820,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	536,806	524,210
土地	1,959,836	1,959,836
その他(純額)	109,264	113,777
有形固定資産合計	2,605,907	2,597,824
無形固定資産		
のれん	44,381	37,512
その他	84,167	76,185
無形固定資産合計	128,548	113,697
投資その他の資産		
差入保証金	546,862	554,725
その他	347,521	330,102
投資その他の資産合計	894,383	884,828
固定資産合計	3,628,840	3,596,350
資産合計	5,234,534	5,416,757
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,308	35,394
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	121,646	111,630
未払金	331,102	348,205
未払法人税等	67,920	178,732
賞与引当金	23,063	20,659
資産除去債務	-	4,496
その他	181,069	121,232
流動負債合計	855,109	920,349
固定負債		
長期借入金	213,508	158,536
退職給付引当金	117,289	120,923
役員退職慰労引当金	121,911	121,571
資産除去債務	104,094	100,119
その他	139,299	126,758
固定負債合計	696,102	627,909
負債合計	1,551,211	1,548,258

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	2,721,312	2,919,546
自己株式	△3,135	△3,152
株主資本合計	3,669,243	3,867,461
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,079	1,036
評価・換算差額等合計	14,079	1,036
純資産合計	3,683,323	3,868,498
負債純資産合計	5,234,534	5,416,757

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	4,136,112	4,011,943
売上原価	1,146,268	1,151,337
売上総利益	2,989,843	2,860,606
販売費及び一般管理費	2,569,775	2,505,686
営業利益	420,068	354,920
営業外収益		
受取利息	237	530
受取配当金	557	582
受取家賃	20,060	20,356
その他	24,465	23,785
営業外収益合計	45,320	45,255
営業外費用		
支払利息	2,116	1,411
その他	1,645	934
営業外費用合計	3,762	2,346
経常利益	461,626	397,829
特別利益		
固定資産売却益	127,602	-
投資有価証券売却益	-	10,604
特別利益合計	127,602	10,604
特別損失		
固定資産売却損	-	245
固定資産除却損	0	2,334
和解金	-	165
投資有価証券評価損	153	-
特別損失合計	153	2,744
税引前四半期純利益	589,074	405,688
法人税等	251,396	165,891
四半期純利益	337,678	239,796

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	589,074	405,688
減価償却費	64,033	66,158
のれん償却額	6,035	6,869
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,904	3,634
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,485	△340
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,147	△2,404
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,202	-
受取利息及び受取配当金	△794	△1,113
支払利息	2,116	1,411
売上債権の増減額(△は増加)	△34,430	△8,336
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,529	2,749
仕入債務の増減額(△は減少)	5,475	5,086
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△10,604
投資有価証券評価損益(△は益)	153	-
固定資産売却損益(△は益)	△127,602	245
固定資産除却損	0	2,334
未払消費税等の増減額(△は減少)	60,143	△33,611
その他の資産の増減額(△は増加)	△37,219	33,404
その他の負債の増減額(△は減少)	58,365	△18,657
小計	574,893	452,515
利息及び配当金の受取額	917	1,237
利息の支払額	△2,063	△1,377
法人税等の支払額	△36,464	△49,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	537,283	403,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期性預金の預入による支出	△365,131	△325,323
定期性預金の払戻による収入	394,902	355,093
有形固定資産の取得による支出	△27,672	△44,089
有形固定資産の売却による収入	8,400	500
出資金の回収による収入	-	50
投資有価証券の取得による支出	-	△238
投資有価証券の売却による収入	-	16,042
投資不動産の売却による収入	207,100	-
貸付けによる支出	-	△670
貸付金の回収による収入	-	50
差入保証金の差入による支出	△9,561	△24,715
差入保証金の回収による収入	13,441	16,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	221,478	△7,156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△92,470	△64,988
リース債務の返済による支出	△17,102	△14,460
自己株式の取得による支出	-	△16
配当金の支払額	△30,543	△41,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,116	△120,984
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	618,645	275,014
現金及び現金同等物の期首残高	801,533	851,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,420,178	1,126,979

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。